

ひな
巨理伊達家のお雛様と

宇和島伊達家由来のお雛様

だて歴史文化ミュージアム
Date City Museum of History and Culture

「だて歴史文化ミュージアム」では、2月11日から3月22日まで企画展「巨理伊達家のお雛様展」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため2月27日から臨時休館としました。

今月号では、観覧を楽しみにしていた皆さんに、伊達市のあゆみを見守り続けたお雛様をご紹介します！

＊ お雛様とは？

雛人形は3月3日を「女の子の日」として、女の子の成長と幸せを願って各家庭で飾るものです。この日本の伝統的な行事は1000年以上前から行われ、公家や武家など支配階級でも年中行事として重要なものでした。人形は、天皇陛下と皇后陛下を模したものとわかれていて、江戸時代に嫁入り道具の1つとなりました。

＊ 「宇和島伊達家由来のお雛様」(有職雛)



有職雛は実際の公家の装束が忠実に再現されていて、江戸時代中期以降に、上層階級が人形師に特注で作らせたものです。

＊ 享保雛



享保年間(1716～1735年)から町方で流行したもので、実際の公家装束から離れた豪華な衣装が特徴です。

＊ 次郎左衛門雛



江戸時代中期(18世紀)に雛屋次郎左衛門という人形師が作り上げ、お団子のような丸い顔に引目鉤鼻という源氏物語絵巻に描かれるような面貌が特徴です。

＊ 古今雛



江戸で成立した雛人形の様式で、豪華な衣装をまとった写実性の高い身体表現が特徴です。

＊ お姫様と一緒に海を渡ったお雛様

明治3年、ここ伊達市に巨理伊達家中が移住したとき、たくさんの家宝は売り払われ、移住の費用に充てられました。

このお雛様とともに移住したのは、巨理伊達家に嫁いだ仙台藩最後のお姫様の伊達保子です。保子は明治4年に家臣らとともに北海道に渡りました。

巨理伊達家のお雛様は、幕末の激動を保子と一緒に生き抜き、北海道でもいくつかの戦乱を乗り越えて今日の私たちの前にあります。

宇和島伊達家由来のお雛様

昨年ミュージアムに寄贈されたお雛様で、江戸時代後期のものと考えられています。宇和島伊達家は、江戸時代初頭に本家から分家し、現在の愛媛県宇和島市の領主でした。



表紙のはなし



3月18日(水)、黄金小学校のリーダーとして活躍してきた6年生6人が、真新しい中学校の制服に身を包み、黄金小学校最後の卒業生として卒業証書を手に入れました。

中学校では、どのような出会いや物語が待っているのでしょうか。

楽
画
記

■ 出会いの季節「春」が到来し、令和2年度のスタートです！私は今月号で広報担当を離れることになりました。この3年間を振り返ると、取材を通してたくさんのお会いがあり、皆さんには大変お世話になりました。これからも趣味として、さまざまな景色を撮り続けたいと思っています！今後とも広報だてをよろしくお願いいたします。(リ)

■ 2月下旬から、市内では新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントなどの中止が相次ぎ、だて歴史文化ミュージアムも休館になりました。実は裏表紙で紹介している「お雛様展」に行こうと思っていたのですが3月22日までだったのでのんびり構えているうちに休館に…物事は何でも早め早めが大事だなと改めて感じました。(ヤ)

■ ついこの間まで夜が長い冬だったはずが、気が付くと日が長くなっていて、いつの間にか春分の日も過ぎていました。去年の今頃は、新元号「令和」が発表された頃ですね。1年が経つのがものすごく早く感じます。これはきっと、仕事に忙殺されているから…ではなくて、日常が充実している証だと信じています。(は)

発行 編集

伊達市企画財政部企画課

〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1

として保存しよう